

# 碩心

社団法人 日本詩吟学院 岳風会 認可  
神奈川 碩心 会 発行

9年12月現在 逗子山船 葉大地 大(合)	会員数 146名 211名 33名 390名	9年12月 発行 加編 中	(305号) 相 者 愛
--------------------------------	------------------------------------	------------------------	-----------------------

## 予定行事

○碩心会初吟会

日 時・平成10年1月15日(例)10時より

会 場・逗子会館

○県本部初理事会・初吟会

日 時・平成10年1月25日(日)

会 場・ヨコハマジャスト崎陽軒8F

○碩心会春期審査会(初段〜八段)

日 時・平成10年3月8日(日)

会 場・市立逗子図書館ホール

※詳細は又あらためて記載します。該当の方々どうぞがんばって下さい。

## 第109回 全国吟道大会・吟行会

平成10年10月3日〜10月6日、北海道札幌で行われる右会の件については、10月号に一部記載いたしました。項目の中の吟行費十万円は(十万七千円)となりましたのでお知らせします。

尚、コース、その他詳細については来る1月号の月報に記載しますのでお楽しみに。

## 詩吟との出会いと回想

逗子A 舟 渡 舟 岳

昭和十六年中学を卒えて函館の水産会社に就職した時は、既に大東亜戦争の緒戦で、社内の志気高揚の為、詩吟教室が創られ、社長以下全員が、昼休みと仕事を終えてから、師範の流派も知らぬままに、毎日基本練習をして三年程習いました。

そして戦局も一段と激しくなった頃、適齢兵役の為満州に渡り、ソ満国境の警備歩哨に立った時、あの二〇三高地の「爾靈山」を想い浮べ、又南方の孤島に派遣された時も、洋上の輸送船のデッキで「白虎隊」をくちずさんだり、そしてグアム島に上陸したものの、後方補給が絶たれ、又も洋上を迂回して沖繩の糸満に転進し、愈々明日は敵を迎え打つとき、洞窟の中で「蒙古来」を吟じました。

次第に状況が緊迫し、今宵が最後かと滅死奉公を誓って手榴弾を抱え、連合軍の上陸舟艇の間を縫って海に逃れ、黒潮に流されて数日後に、漁船に救われ一命を得たのも、詩吟の意志の強さがあつたからと今に思います。戦も終結して、三年後に復員し荒廃した国

土をみた時、杜甫の「春望」をそつと心の中  
で吟じ、郷里に帰って休む暇もなく、食に追  
われ名古屋に出て、焦土と化した街の復興に  
尽くし、二十年の歳月は水の如く流れました。

仕事の関係で葉山にきて、前会長根岸岳萃  
先生の膝元の長柄教場に昭和45年入会し、仕  
事の合間をぬって教場に通うこと二十年：そ  
の後逗子に転居し、逗子教場に移籍して、根  
岸先生の指導を受けて今日に至っております。

今は体調を整えながら、千葉岳関先生はじ  
め、村田、松井先生達とごいっしょに、楽し  
く精いっぱい頑張っております。「継続は力  
なり」の諺のように、人前で吟ずる時は、一  
詩、百回の練習を積むこと、又、詩の意を理  
解して、語句はつめて余韻で味合を出す等々  
先生方の言葉が耳の奥に残り、練習に励んで  
おります。平成六年に十段位を受与し、吟道  
大会での諸先生や吟友の吟詠を聞き、段位に  
恥じぬよう吟じたいと念じています。

吟行会の想い出を振りかえる時、長野地蔵  
寺山の墓参、小諸懐古園の散策、寒河江吟友  
会との交歓会で、東北の人々の温情溢れる厚  
意に感動し、楽しいサクランボ狩りなど、昨  
日の事のように懐かしく思い出されます。

今後も健康の許す限り、行事に参加して、  
吟友同志の交流を計りたいと思っております。

### はじめての詩舞の伴吟

滝の坂 小峰 悠風

昼食を終り会場へ戻る廊下で、尺八の石川  
先生にお逢いし「九月十日」の吟は4本でお  
願います」と、考えてもいなかったことが  
口から出てしまいました。石川先生は笑って  
うなづいてくれました。

上村先生から「一度詩舞の吟をやってみた  
ら」とお話があった時、「九月十日」の詩は  
聞き馴れていましたが、ただ自分の音程が低  
いので、舞の方にご迷惑をかけてはと、再三  
お断りしてききましたが、お教室で練習をして  
いるうちに、高い声は出なくても、心をこめ  
て吟じ、そして舞っていただければと思い、  
お受けすることにいたしました。

本番になり一声を発しましたが低く出てし  
まいました。石川先生に4本をお願いしとき  
ながら、これはいつもの調子ではない、低い  
のでは：、舞いづらいつものは：と色々考えな  
がら、舞をみながら、長短には一生懸命気を  
つけて吟じ終わりました。石川先生に一礼して

舞台をおりましたが、詩舞の有馬さんと石井  
さんがわざわざこられて、何度もお礼を言っ  
て下さいました。このひと言で、朝からの緊  
張もとれ、本当に嬉しく思いました。あとは  
上村先生のご批評を待つばかり。正直のここ  
ろ聞きたくない気持です。

(姓名の訂正)

11月号入会欄の184菊地多美江を菊池に

(移籍)

12森田岳鈴・大船B支部より(大船A支部へ)

(支部消滅)

右移籍と左記2名退会により大船B支部消滅

11月現在：逗子(8) 葉山(12) 大船(4) 24支部

(住所変更)

227大前妙風(新) 逗子市逗子6-4-27

青山ハイツB1(電話同じ)

(入会)

485山盛和子 横須賀市林4-4-2

(逗子A) ☎〇四六八一五七-八四六九

(退会)

67平山祥岳(悠吟) 310坂本桜山(一色)

331吉田貞山(大船B) 394赤坂春泉(大船B)

459山口純子(栄) 460相馬真理子(栄)